

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第28回電気通信普及財団賞論文募集——

応募要項 [一般向け]

[テレコム社会科学賞]

テーマ 電気通信についての社会科学的観点からの研究(電気通信と法律・経済・社会・文化等との関係について論じたもの)

応募対象論文 前記テーマについて、日本語で書かれた著書または論文(雑誌、学会誌等に掲載された論文または書き下ろしの未発表論文。1万字以上)。ただし、既発表のものについては、最近2年以内に発表されたものに限る。

[テレコムシステム技術賞]

テーマ 電気通信及びそれに関連する情報処理についての工学的、技術的観点からの研究及び標準化(情報通信の基礎理論の研究、情報通信システムの研究・開発、情報通信システムの応用、標準化等。ただし、材料・素子に関するものを除く)

応募対象論文 前記テーマについて書かれた論文・公開された資料(学会誌、国際会議〔標準化も含む〕、雑誌等に発表しない採録が決定したもの)または著書で、次に示す事項に該当するもの

- ・情報通信の基礎理念の研究:最近10年以内に発表されたもの
- ・情報通信システムの研究、開発、応用:最近2年以内に発表されたもの
- ・国際標準化活動にかかわるもの:最近10年以内に電気通信に関する国際標準として採用された、または標準化の方向付けに貢献したのもの

応募資格 論文/著書を執筆した個人またはグループ。自薦、他薦は問わない。

表彰 テレコム社会科学賞、テレコムシステム技術賞それぞれにつき入賞5論文以内を選定し、1論文につき賞金50万円を贈呈。なお、若干の奨励賞(賞金30万円)を選定することがある。

応募要項 [学生向け]

[テレコム社会科学学生賞]

テーマは上記〔テレコム社会科学賞〕と同じ

応募対象論文 前記テーマについて、学部及び修士課程において、本人が中心となって行った研究に関する論文。日本語に限る。文字数は資料含み2万字以内(図表、注釈は除く)。卒業・修士論文、書き下ろしの論文または雑誌掲載論文。

応募資格 学部もしくは修士課程に在学中の者、または、平成24年3月以降に卒業(修了)した者。

[テレコムシステム技術学生賞]

テーマは上記〔テレコムシステム技術賞〕と同じ

応募対象論文 前記テーマについて、学部及び修士課程において、本人が中心となって行った研究に関する論文(卒業・修士論文、学会論文誌、国際会議、研究会に発表ないし採録が決定したもの、または書き下ろしの論文)

応募資格 学部もしくは修士課程に在学中の者、または平成23年3月以降に卒業(修了)した者。

表彰 テレコム社会科学学生賞、テレコムシステム技術学生賞それぞれにつき入賞10論文以内を選定し、1論文につき賞金20万円を贈呈。(特に優秀な論文には賞金50万円を贈呈)また、佳作5論文以内を選定し、1論文につき賞金10万円を贈呈。

応募締切 平成24年9月30日(日)

問合せ先 電気通信普及財団賞事務局 TEL〔03〕3663-8024  
<http://www.taf.or.jp/award/>

——第59回(平成24年度)大河内賞——

受賞資格 最近において優れた業績をあげた個人または5名までのグループあるいは事業体。(受賞は原則として同一年度1社1業績)

賞の種類、対象となる業績

●個人または5名以内のグループを対象とする賞

大河内記念賞:生産工学上優れた独創的研究成果をあげ、公表された論文または学術上価値ある発表により、学術の進歩と産業の発展に多大の貢献をした業績。表彰:賞状、賞牌、賞金100万円/件

大河内記念技術賞:生産工学、生産技術の研究により得られた優れた発明または考案に基づく産業上の顕著な業績。表彰:賞状、賞牌、賞金30万円/件

●事業体を対象とする賞

大河内記念生産特賞:生産工学上の優れた独創的研究によりあげられた産業上の特に顕著な業績。表彰:賞状、大型賞牌。

大河内記念生産賞:生産工学、高度生産方式等の研究により得られた優れた発明または考案に基づく産業上の顕著な業績。表彰:賞状、大型賞牌。

推薦者 事業体、個人または自薦いづれでも可。

推薦締切日 平成24年8月24日(金)13時必着

問合せ先 大河内記念会

TEL〔03〕3501-2856, FAX〔03〕3501-2727

[http://www.okochi.or.jp\\_kinenkai@okochi.or.jp](http://www.okochi.or.jp_kinenkai@okochi.or.jp)

——平成24年度放送文化基金助成——

対象分野 放送文化にかかわりのある技術の研究・開発

- ・デジタル放送や将来の新しい放送システムに関する研究
- ・放送・通信融合時代における新しい放送サービスに関する技術研究
- ・放送番組の撮像・生成、記録、編集、保存等の制作技術に関する研究
- ・放送における送信、受信、伝送、再生または表示の技術に関する研究
- ・放送技術にかかわりのある基礎的研究及び人間の生理・心理等に関する研究

助成金額 総額5,500万円、1件当たり300万円

募集期間 平成24年9月3日(月)~28日(金)必着

問合せ先 放送文化基金 TEL〔03〕3464-3131,

FAX〔03〕3770-7239 <http://www.hbf.or.jp>

—2012 年度朝日賞—

人文や自然科学など、我が国の様々な分野において傑出した業績をあげ、文化・社会の発展・向上に多大な功績をされた個人または団体に贈ります。

募集締切日 平成 24 年 8 月 31 日（金）（所定の推薦票による）

問合せ先 朝日新聞社 CSR 推進部「朝日賞」事務局

TEL〔03〕5740-7453, FAX〔03〕3541-8999

—平成 25 年度全国発明表彰—

本発明表彰は、我が国における発明、考案または意匠の創作者並びに発明の実施及び奨励に関し、実績のあった方々を顕彰することにより、科学技術の向上及び産業の発展に寄与することを目的としています。

表彰(1) 第 1 表彰区分

- ・恩賜発明賞（賞状及びメダル）最も優秀と認められる発明等の完成者に恩賜発明賞を贈呈。
- ・畠山一清賞 恩賜発明賞の受賞者に対して畠山一清賞として賞状及び発明奨励金（200 万円）を贈呈。
- ・特別賞（賞状、メダル及び発明奨励金）内閣総理大臣発明賞（100 万円）、文部科学大臣発明賞、経済産業大臣発明賞、特許庁長官賞、発明協会会長賞以上各賞（50 万円）、日本経済団体連合会会長発明賞、日本商工会議所会頭発明賞、日本弁理士会会長賞、朝日新聞発明賞以上各賞（30 万円）

・発明賞（賞状及びメダル）

(2) 第 2 表彰区分

- ・21 世紀発明賞（賞状、メダル及び発明奨励金）著しく優秀と認められる発明の完成者に贈呈。（150 万円）
- ・21 世紀発明奨励賞（賞状、メダル及び発明奨励金）特に優秀と認められる発明の完成者に贈呈。（50 万円）

(3) 実施等に関する表彰

- ・発明実施功績賞（賞状及びメダル）第 1 表彰区分において、恩賜発明賞、特別賞を受賞する発明等が法人におけるものである場合に当該法人の代表者に贈呈。
- ・21 世紀発明貢献賞（賞状及びメダル）第 2 表彰区分において、21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を受賞する発明が法人におけるものである場合に当該法人の代表者に贈呈。
- ・発明実施功労賞（賞状及びメダル）第三者の発明、考案及び意匠を実施し、顕著な功績をあげている実施者を対象として贈呈。

(4) 発明奨励に関する表彰

- ・発明奨励功労賞（賞状及びメダル）発明、考案及び意匠創作の指導、育成、奨励について顕著な功績のある者を対象として贈呈。

応募方法 応募にあたっては、所定の「平成 25 年度全国発明表彰調査表」に記入の上、正 1 通、副 2 通（正の写し）の計 3 通を最寄りの発明協会各都道府県支部に提出して下さい。

応募締切日 平成 24 年 8 月 31 日（金）

問合せ先 発明協会 発明奨励グループ発明奨励チーム

TEL〔03〕3502-5431, FAX〔03〕3502-3485

shourei@jiii.or.jp <http://www.jiii.or.jp/>

受賞候補者募集等

—NEC C & C 財団助成—

●2012 年度後期国際会議論文発表者助成

趣 旨 海外で開催される国際会議において、「C & C 技術分野」の論文発表者を対象に、その会議に出席するための渡航費用を補助するもの。C & C 技術分野とは、情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術及びこれらの技術の融合した技術分野をいう。

助成の概要 ① 助成の対象となる国際会議：

開催期日が 2012 年 11 月 1 日～2013 年 4 月 31 日で査読付きのもの

② 1 件当りの助成額：12～25 万円（開催地による）

助成の条件 ① 国際会議投稿時及び参加時に、日本の大学の博士前期並びに後期課程の在籍者（40 才以下）。

② 国際会議（査読付き）での論文採用が確定している方。論文採用未確定の場合は、論文採用確定を待って助成する。

③ 筆頭著者で、かつ発表者であること。

④ 応募件数は 1 名につき 1 件で、指導教官の推薦を必要とする。

⑤ 同一研究室から同一国際会議への応募は原則 1 名とする。複数名の応募の場合は、推薦者による優先順位を参考に審査する。

⑥ 経済的必要性が高いこと。

助成予定数 40 件程度

応募締切 平成 24 年 8 月 31 日（金）

問合せ先 NEC C & C 財団

TEL〔03〕3457-7711, FAX〔03〕3798-7818

kokuron@candc.or.jp <http://www.candc.or.jp/>

●「外国人研究員助成」2013 年度支給候補者

趣 旨 日本国内の大学において、「C & C 技術分野」の研究を行っている外国人研究員で経済的支援の必要な方を助成するもの。学位取得に集中できる環境を整えることを趣旨とするので、助成を受け取る期間において博士後期課程に属する方を優先する。

助成の概要 ① 助成受給者一人当たり月額 12 万 5 千円を 1 年間支給。

② 助成開始日は原則毎年 4 月 1 日。

③ 助成受給人数は毎年 3 名程度。

候補者資格 ① 国内の大学の大学院博士課程に在籍し、C & C 分野の研究に携わっている外国人研究員であって、指導教官の推薦を受けること。

② 研究内容が優れていること。

③ 経済的必要性が高いこと。

④ 応募時 40 歳以下の方。

応募締切 平成 24 年 9 月 30 日（日）

問合せ先 NEC C & C 財団

TEL〔03〕3457-7711, FAX〔03〕3798-7818

<http://www.candc.or.jp/>